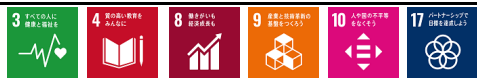


施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	063 中小企業の経営基盤強化の支援		
総合計画	基本目標 IV 魅力あふれる うるおいと活力のあるまち（都市基盤・産業） 基本施策 04 にぎわいの創出	主担当部課名	生活環境部 産業振興課
めざす姿	中小企業の経営安定に係る支援や創業者を後押しする支援により、地域経済の活性化が図られるとともに、事業主や勤労者に充実した福利厚生事業等が提供されることで、人が生き生きと働くことのできる活気あるまちになっています。		
SDGsとの関連			

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	136,856,000	142,208,000	132,605,000	137,009,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	25,200,000	37,700,000	0	0		
一般財源	111,656,000	104,508,000	132,605,000	137,009,000		
予算現額	841,694,000	802,404,000	802,763,000	0		
決算額	801,318,700	785,258,899	790,767,571	0		
国庫支出金	13,000,000	436,783,096	372,101,414	0		
都支出金	298,048,000	262,174,000	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	362,022,000	1,000,000	370,000	0		
一般財源	128,248,700	85,301,803	418,296,157	0		
執行率	95.2	97.9	98.5	0.0		
(人件費)						
職員数	2.00	2.60	2.60	0.00		
職員人件費	15,669,614	21,004,945	20,745,377	0		
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	425,973	431,567	457,986	0		
総コスト	817,414,287	806,695,411	811,970,934	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 創業支援事業に参加し、創業した件数	23 件	実績 17 達成率 56.7	14 46.7	- 0.0	- 0.0	30
② 市内の中小企業における公社福利厚生事業への加入者数	7,241 人	実績 6,832 達成率 85.4	6,391 79.9	- 0.0	- 0.0	8,000
		実績				
		達成率				
		実績				
		達成率				

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	新型コロナウイルス感染症の影響により中小企業を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあり、経営状況の回復には多くの時間が必要とされ、新たに物価等の高騰が業績の悪化に影響を及ぼしている。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	実質無利子無担保融資に対応する借換融資支援・原油・原材料価格・物価高騰に対する支援・福利厚生事業の拡充・ワークライフバランスの分野で助成金・セミナー等多様な政策。	物価高騰など創業者を取り巻く環境が厳しい状況にある中で、創業までに至らないケースがあり、創業件数は減少したが、創業塾に参加した人数は令和4年度より増加(31名→47名)しており、創業に対する意欲は高い。定期健康診断やインフルエンザ予防接種に対して補助する健康関連推進事業の利用が多く、勤労者と事業主双方の満足度は高い。	
市民ニーズ	事業資金調達の支援の他、経営に関する相談や講習会等による指導、創業希望者への支援が求められる。市民が生き生きと働くことのできる活気あるまちを目指し、事業主や勤労者に充実した福利厚生事業等を求められる。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	中小企業経営安定化事業		担当部署	生活環境部 産業振興課				事業種別	主要な事務事業										
次年度における事業の位置づけ									B				1						
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① 融資実行件数	243	計画値	243	243	243	243	243	243	243	1	2	3	4	5	6	7	8		
	件	実績	215	331	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
要因の具体的内容		新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への支援策として令和2年度から東京都が実施した無利子融資の利子補給期間(3年間)が終了したことに伴い、より利率が低い自治体の融資あっ旋制度を利用した借換が進んだためと思われる																	
	計画値									要因の種類(※)									
	実績									<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
要因の具体的内容																			
事務事業名称	商工業振興事業・経営改善事業		担当部署	生活環境部 産業振興課				事業種別	主要な事務事業										
次年度における事業の位置づけ									B				1						
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① 創業支援事業に参加し創業した件数	23	計画値	23	25	27	30	30	30	30	1	2	3	4	5	6	7	8		
	件	実績	17	14	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
要因の具体的内容		創業塾に参加した人数はR4より増加(31名→47名)しているが、物価高騰などの状況から創業までに至らないケースがあると推測される。																	
② 経営改善指導件数(個別巡回窓口相談件数)	2,100	計画値	2,150	2,200	2,250	2,300	2,300	2,300	2,300	要因の種類(※)									
	件	実績	2,737	1,820	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
要因の具体的内容		新型コロナウイルス感染症や物価高騰に関連した事業者への新規支援策が減少し、それらに関する相談も減少したためと推測される。																	
事務事業名称	勤労者福祉振興公社運営支援事業		担当部署	生活環境部 産業振興課				事業種別	主要な事務事業										
次年度における事業の位置づけ									B				1						
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① 市内の中小企業における公社福利厚生事業への加入者数	7,241	計画値	7,430	7,620	7,810	8,000	8,000	8,000	8,000	1	2	3	4	5	6	7	8		
	人	実績	6,832	6,391	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
要因の具体的内容		倒産・廃業等によるもの																	
	計画値									要因の種類(※)									
	実績									<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
要因の具体的内容																			

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	中小企業事業資金融資利子及び中小企業退職金共済掛金への支援を行うとともにむさし府中商工会議所が行う商工業振興事業及び経営改善事業に対して支援を行った。 個々の中小企業では実施が困難な福利厚生について、スケールメリットを生かした充実した制度を運用している。 健康関連推進事業の利用が多く、満足度は高い。	中小企業事業資金融資利子及び中小企業退職金共済掛金への支援を行うとともにむさし府中商工会議所が行う商工業振興事業及び経営改善事業に対して支援を行った。 個々の中小企業では実施が困難な福利厚生について、スケールメリットを生かした充実した制度を運用している。 健康関連推進事業の利用が多く、満足度は高い。		
今後の展開	むさし府中商工会議所と連携し、中小企業の経営に対し、専門家による各種相談、指導の提供、各種講座の開催等の支援を継続して実施していく。 中小企業を取り巻く環境が依然として厳しい中、勤労者福祉振興公社の自立を促しつつ、財政面での適切な支援を行い、加入者の増加を図っていく。	むさし府中商工会議所と連携し、中小企業の経営に対し、専門家による各種相談、指導の提供、各種講座の開催等の支援を継続して実施していく。 中小企業を取り巻く環境が依然として厳しい中、勤労者福祉振興公社の自立を促しつつ、財政面での適切な支援を行い、加入者の増加を図っていく。		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				




6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
中小企業における経営基盤の強化や従業員のワークライフバランス、健康増進に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
中小企業における経営基盤を強化するため、むさし府中商工会議所と連携し、経済状況に応じた支援を行う。 ワークライフバランスの視点を市内中小企業に取り入れてもらうべく、勤労者福祉振興公社と情報交換を行い、積極的な周知やセミナー実施などの促しを行う。	むさし府中商工会議所と連携し、中小企業の経営に対し、専門性の高い各種相談、指導の提供、講座の開催等の支援を継続して実施していく。 また、ワークライフバランスの視点を市内中小企業に取り入れてもらうべく、勤労者福祉振興公社と情報交換を行い積極的な周知やセミナー実施などを促す。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・商工まつり ・商工振興表彰式典 ・経営情報提供事業 ・中小企業インターネット等活用支援事業 ・創業支援事業 ・経営指導…1,820件 ・講習会などによる指導…53回 ・記帳指導…146回 	協働で実施したが、市民への還元効果については不明確である	既存の事業を継続して実施するとともに、むさし府中商工会議所と連携し事業者のニーズの抽出及び効果的な支援を行う。

施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	064	地域商業の振興
総合計画	基本目標 IV 魅力あふれる うるおいと活力のあるまち（都市基盤・産業） 基本施策 04 にぎわいの創出	主担当部課名 生活環境部 産業振興課
めざす姿	各地域の商店や商店街で特徴のある魅力的なサービスが提供され、市民の日常生活における利便性や快適性が高まっています。また、日-の交流や商店街等が実施するイベント活動により、地域につながりや活気が生まれています。	
SDGsとの関連	  	

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	54,737,000	62,661,000	71,567,000	76,166,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	23,263,000	24,861,000	23,112,000	25,829,000		
市債	0	0	0	0		
その他	4,100,000	9,400,000	8,300,000	0		
一般財源	27,374,000	28,400,000	40,155,000	50,337,000		
予算現額	104,237,000	561,561,000	118,909,000	0		
決算額	68,938,978	187,951,812	89,292,393	0		
国庫支出金	0	144,395,293	0	0		
都支出金	10,476,000	10,317,000	12,882,000	0		
市債	0	0	0	0		
その他	34,000,000	6,500,000	6,300,000	0		
一般財源	24,462,978	26,739,519	70,110,393	0		
執行率	66.1	33.5	75.1	0.0		
(人件費)						
職員数	0.90	1.10	2.60	0.00		
職員人件費	7,051,326	8,886,708	20,745,377	0		
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	191,688	182,586	457,988	0		
総コスト	76,181,992	197,021,106	110,495,758	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 市内店舗において買い物をする市民の割合	77.5	実績	-	-	-	80
	%	達成率	0.0	0.0	0.0	
② 市内商店街が実施するイベント事業数	44	実績	22	28	-	48
	事業	達成率	45.8	58.3	0.0	
		実績				
		達成率				
		実績				
		達成率				

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	スーパーや大型商業施設への買物客流出やインターネットショッピング利用者の増加等により、商店会を取り巻く環境は厳しいものとなっている。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	東京都では商店街が実施するイベントや商店街の設備等に関する補助を行っており、商店街の振興を図っている。		商店街のニーズを捉え、商店街の維持や振興について必要な補助を行った。
市民ニーズ	本市には50近い商店会があり、市民の身近な買物や食事の場所として利用されているほか、商店会との日々の交流や商店会が実施するイベント活動により、地域につながりや活気が生まれている。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	商店街振興事業		主担当部課名	生活環境部 産業振興課				事業種別	主要な事務事業									
次年度における事業の位置づけ									A									
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① 商店街イベント事業補助金 交付事業数	44	計画値	42	44	44	44	44	44	44	1	2	3	4	5	6	7	8	
	件	実績	22	28	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		新型コロナウイルス感染症の影響や担い手不足により一部イベントが中止となったため																
		計画値								要因の種類(※)								
		実績								1	2	3	4	5	6	7	8	
										<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		
事務事業名称			主担当部課名					事業種別										
次年度における事業の位置づけ																		
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
		計画値								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		
		計画値								要因の種類(※)								
		実績								1	2	3	4	5	6	7	8	
										<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		
事務事業名称			主担当部課名					事業種別										
次年度における事業の位置づけ																		
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
		計画値								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		
		計画値								要因の種類(※)								
		実績								1	2	3	4	5	6	7	8	
										<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	商店会が行うイベントに補助を行うとともに、街路灯等の電気料の補助を行った。また地元応援商品券事業を実施し、商店街をはじめとする地域商業の活性化を図った。また、市内商店会での買物客に対して商品券を配布し、市内商店会の活性化を図った。	商店会が行うイベントに補助を行うとともに、街路灯等の電気料やLED交換、アーチの撤去に対する補助を行った。また地元応援商品券事業を実施し、商店街をはじめとする地域商業の活性化を図った。また、市内商店会での買物客に対して商品券を配布し、市内商店会の活性化を図った。		
今後の展開	商店会では、さまざまなイベントを実施して商店街の活性化を図っているが、商店会未加入事業者、商店の後継者問題、大規模店舗の増加、消費者の生活様式やニーズの多様化などの問題に対応できる商店街づくりが求められている。	商店会では、さまざまなイベントを実施して商店街の活性化を図っているが、商店会未加入事業者、商店の後継者問題、大規模店舗の増加、消費者の生活様式やニーズの多様化などの問題に対応できる商店街づくりが求められている。		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				


6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
商店や商店街における活性化や地域との触れ合い、つながりに関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
むさし府中商工会議所や商店会と協働し、商店会への集客を促すイベント等を実施するとともに、街路灯やアーチ等の適切な整備を進めていく。	むさし府中商工会議所と連携し、商店会に対し適切な指導・アドバイスを行っていく。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
むさし府中商工会議所と協議し、老朽化した街路灯・アーチの対策に関するアンケートを実施した。また、イベントやアーチ撤去、街路灯LED交換の事業に対する補助を行い、商店街の振興及び負担軽減を図った。	協働で実施したことにより、何らかの効果を市民に還元できた	むさし府中商工会議所と連携し、商店会のニーズに応じた支援を実施していく。

施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	065	工業の育成			
総合計画	基本目標 基本施策	IV 04	魅力あふれる うるおいと活力のあるまち（都市基盤・産業） にぎわいの創出	主担当部課名	生活環境部 産業振興課
めざす姿	技術革新や新製品開発、異業種交流や産学官交流などの積極的な実施により、市内工業における技術の向上と経営の効率化が図られ、まちが活性化し、生産力が向上しています。				
SDGsとの関連					

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	11,332,000	11,244,000	11,105,000	8,717,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0		
一般財源	11,332,000	11,244,000	11,105,000	8,717,000		
予算現額	6,351,000	11,244,000	11,105,000	0		
決算額	5,458,611	9,443,052	10,262,629	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0		
一般財源	5,458,611	9,443,052	10,262,629	0		
執行率	85.9	84.0	92.4	0.0		
(人件費)						
職員数	0.75	1.20	1.20	0.00		
職員人件費	5,876,105	9,694,590	9,574,789	0		
月額制会計年度任用職員数	3.00	3.00	3.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	9,746,076	9,713,325	9,674,166	0		
(間接経費)						
間接経費	798,700	697,148	739,826	0		
総コスト	21,879,492	29,548,115	30,251,410	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値	
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		
① 製造品出荷額等の多摩地域26市順位	1位	実績 達成率	- 0.0	- 0.0	- 0.0	- 0.0	1
② 1事業者当たり付加価値額の多摩地域26市の順位	3位	実績 達成率	- 0.0	- 0.0	- 0.0	- 0.0	3
		実績 達成率					
		実績 達成率					

指標の分析		外部要因を加味した実績の評価	
外部要因の分析		評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
社会経済動向	物価高騰等により事業者を取り巻く環境は厳しい状況にある。	新製品の開発や販路開拓等に関して補助金を交付するとともに、適宜相談に応じ、市内工業の活性化を図った。	
国・都の政策	ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金・東京都産業交流など		
市民ニーズ	社会経済の変化に迅速に対応するため、新製品の開発や販路の開拓等に関する支援や特許相談といった技術相談への対応が求められている。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	中小企業工業技術向上支援事業		主担当部課名	生活環境部 産業振興課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① 技術相談を行った件数	516	計画値	418	452	486	520	520	1	2	3	4	5	6	7	8	
	件	実績	370	462	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		来所による相談件数は減少したが、メール・郵送による相談件数が大きく増加した。														
② 製造業等活性化事業補助金の交付を行った件数	5	計画値	5	5	5	5	5	要因の種類(※)								
	件	実績	4	5	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8	
要因の具体的内容		申込は6件あったが、審査の結果5件の交付決定となった。														
事務事業名称	異業種交流促進事業		主担当部課名	生活環境部 産業振興課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									C				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① 工業技術展(テクノフェア)の出展企業等の数	60	計画値	61	62	63	64	64	1	2	3	4	5	6	7	8	
	数	実績	31	29	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		出展企業の固定化や内容のマンネリ化などにより、新たな出展企業が少ない。														
		計画値						要因の種類(※)								
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8	
要因の具体的内容																
事務事業名称			主担当部課名					事業種別								
次年度における事業の位置づけ																
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																
		計画値						要因の種類(※)								
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8	
要因の具体的内容																

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	(外部要因の影響などもあり) 計画をやや下回る成果であった	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	府中市工業技術展（テクノフェア）の開催を行うとともに、異業種交流グループの支援を行った。また、府中市工業技術情報センターにおいて、専門の相談員による技術相談及び技術講習会の開催を行うなど、市内中小企業の製品開発や技術革新の取組の支援を図ることができた。	府中市工業技術展（テクノフェア）を開催した。また、府中市工業技術情報センターにおいて、専門の相談員による技術相談及び技術講習会の開催を行うなど、市内中小企業の製品開発や技術革新の取組の支援を図った。		
今後の展開	府中市工業技術情報センターを活用し、専門の相談員による技術相談と技術情報の提供により、中小企業の製品開発や技術革新を支援する。また、市内中小企業のビジネスマッチングを促進する場として、府中市工業技術展の見直しを進める。	府中市工業技術情報センターを活用し、専門の相談員による技術相談と技術情報の提供により、中小企業の製品開発や技術革新を支援する。また、府中市工業技術展の内容の見直しを行い、中小企業間のビジネスマッチング会を開催する。		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				



6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
異業種交流や産学官交流を含めた事業者間のマッチングに関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
工業に関する専門知識や市内事業者の情報に精通したむさし府中商工会議所と協働し、より専門性の高い異業種交流や産学官交流を促す。	異業種の交流は経営戦略に有効であり、更なる工業育成のためにも継続実施を図りつつ、工業技術展の実施内容は事業者同士のビジネスマッチングにつながる専門性の高い事業を行うことで、技術向上や販路拡大を図る。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
令和5年度においては既存の工業技術展を実施するとともに、マッチング会の開催についてむさし府中商工会議所と協議した。	協働で実施したが、市民への還元効果については不明確である	異業種の交流は販路の新規開拓や技術開発を行っていくうえで重要なものと捉えているが、工業技術展については参加企業が少なく、固定化も見られる。より効果的な異業種交流を図っていくため、事業内容を変更し、企業間の需要と供給をつなげるマッチング会を開催する。

施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	066	観光資源の活用・創出による地域活性化				
総合計画	基本目標	IV	魅力あふれる うるおいと活力のあるまち（都市基盤・産業）		主担当部課名	生活環境部 観光プロモーション課
	基本施策	04	にぎわいの創出			
めざす姿	歴史や文化、自然を始めとする多様な観光資源が効果的に連携し、本市ならではの価値、地域ブランドとなり、他地域の人との関係構築や交流が図られています。そして、市民一人ひとりがまちの魅力を市内外に向けて積極的に発信するとともに、来訪者をおもてなしの心で受け入れるなど、観光を基軸としたシビックプライド（市民であることの誇りや本市に対する愛着）が醸成され、本市のプロモーションが推進されています。					
SDGsとの関連	 					

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	170,352,000	153,627,000	159,170,000	164,875,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	3,505,000	4,550,000	11,928,000	7,519,000		
市債	0	0	0	0		
その他	68,095,000	51,845,000	39,613,000	49,948,000		
一般財源	98,752,000	97,232,000	107,629,000	107,408,000		
予算現額	143,321,000	146,615,000	159,170,000	0		
決算額	130,785,872	139,428,831	153,435,269	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	7,204,000	10,760,000	12,125,000	0		
市債	0	0	0	0		
その他	55,225,440	47,187,397	49,707,371	0		
一般財源	68,356,432	81,481,434	91,602,898	0		
執行率	91.3	95.1	96.4	0.0		
(人件費)						
職員数	9.40	12.30	12.30	0.00		
職員人件費	73,647,186	99,369,548	98,141,589	0		
月額制会計年度任用職員数	1.00	0.00	0.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	3,248,692	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	943,183	3,445,822	2,940,435	0		
総コスト	208,624,933	242,244,201	254,517,293	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績 達成率	実績の推移				R 7年度 目標値
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 市内への来訪者数	652 万人	実績 達成率	441 63.0	558 79.7	- 0.0	- 0.0	700
② 市民の推奨度	56.9 %	実績 達成率	57.2 89.4	57.3 89.5	- 0.0	- 0.0	64
		実績 達成率					
		実績 達成率					

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	コロナ禍で減少したインバウンド消費が回復傾向にあり、観光立国の復活に向けて、旅行消費の早期回復や持続可能で高付加価値な観光産業の実現などが重要。	評価	外部要因の影響で遅れが生じた
国・都の政策	国は、観光立国の実現に向け、国際競争力の高い魅力ある観光地づくりを推進している。都は、PRIME観光都市・東京の実現に向け、旅行者を積極的に誘致するほか、観光資源開発や受入環境の整備を推進している。	本格的にコロナが明けたことで、それまで中止を余儀なくされたくらやみ祭などのイベントは復活し参加者数はコロナ前に戻ったが、年間を通じての市内への来訪者数はコロナ前までに戻らず、基準値には到達しなかった。令和5年度に、本市をPRする「武蔵国 府中大使」観光ガイドブックの作製やSDGs 修学旅行コンテンツの outward 宣伝、外国人観光客向け多言語情報サイトへのショート動画掲載等、アフターコロナの観光客誘致につながる各施策を実施しているため、今後に期待をしたい。	
市民ニーズ	コロナ禍を経て観光を取り巻く環境が変化し、観光の役割やつながりの重要性が再認識されている。更なるにぎわいの創出に向け、産業・世代・地域間連携など、多様な主体が有機的に連携することが求められている。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	観光振興事業		主担当部課名	生活環境部 観光プロモーション課				事業種別	重点プロジェクト									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① 府中市観光振興連絡会で検討し作成されたコンテンツ作成数	-	計画値	-	1	1	2	2	2	1 2 3 4 5 6 7 8									
	件/累計	実績	2	3	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		コンテンツの作成に向け、市内事業者等に対して積極的な働きかけを行ったことにより、計画値を超える結果となった。																
② フィルムコミッション事業撮影実施件数	86	計画値	90	94	98	103	103	要因の種類(※)										
	件	実績	121	126	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		以前からのコロナ禍の近隣自治体の受入れ縮小等の影響により、指標が計画値を上回った。																
事務事業名称	観光情報施設管理運営事業		主担当部課名	生活環境部 観光プロモーション課				事業種別	重点プロジェクト									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① 観光情報の発信・情報収集を担う観光情報センタースタッフ人数	5	計画値	5	5	5	5	5	5	1 2 3 4 5 6 7 8									
	人	実績	5	5	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		勤続年数の長いスタッフが多く在籍しており、施設を安定的に運営することができた。																
② 観光情報センターにおける多言語案内ツールの整備数	2	計画値	2	2	2	2	2	2	要因の種類(※)									
	個	実績	2	2	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		3者翻訳通話サービスやデジタルサイネージを継続的に活用した。																
事務事業名称			主担当部課名					事業種別										
次年度における事業の位置づけ																		
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
		計画値							1 2 3 4 5 6 7 8									
		実績							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		
		計画値							要因の種類(※)									
		実績							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	(外部要因の影響などもあり) 計画をやや下回る成果であった	(外部要因の影響などもあり) 計画をやや下回る成果であった		
今年度の主な取組と成果	観光協会の専門性を活かした事業(修学旅行コンテンツの造成、デジタルスタンプラリーやサイクリングフェスティバル、ちはやふるキーワードラリーなど)を推進した。ロケ地マップを作成したほか、外国人観光客向け「着地型観光ツアー」を販売開始した。観光情報センター及び郷土の森観光物産館、183FUCHU FAN ZONEを継続的に運営した。	観光協会の専門性を活かした事業(修学旅行コンテンツの外向宣伝、デジタルスタンプラリーやサイクリングフェスティバル、ちはやふるスタンプラリーなど)を推進した。外国人観光客向けに多言語での情報発信等を行った。観光情報センター及び郷土の森観光物産館、183FUCHU FAN ZONEを継続的に運営した。 武蔵国 府中大使に読売ジャイアンツを任命し、大使を活用した観光ガイドブックを作製した。		
今後の展開	観光に係る産業間・世代間・地域間の連携を推進するとともに、日常を含め市民がホスト・ゲストとして楽しむものを観光と位置付け、市民の参加意欲、推奨意欲を高め、未来につながる観光まちづくりに取り組む。	前年度に記載した展開を継続するとともに、様々な主体の連携と市民がホスト・ゲストとして楽しめるコンテンツとして、企業等におけるバックヤードツアー等の特別プログラム造成を推進する。また、令和5年度に作製した観光ガイドブックを市内外でPRするほか、外国人の高尾山登山検討者向けに市内の観光体験レポートの多言語旅行情報サイトへの掲載や、富裕層向けに通訳付きツアーを造り周知することで来訪者の増加と市民の推奨意欲向上を目指す。		

4年間の総合評価

評価	
実績	
今後の展開	

6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
観光に係るプラットフォームの構築やシビックプライドの醸成に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着したい事業等)	今年度の方針	
府中観光協会や府中市観光ボランティアの会との協働により観光事業を実施しているが、コロナ禍で国内外において観光を取り巻く環境が激変する中、観光の役割やつながりの重要性が再認識されている。今後は、更なるにぎわいの創出に向け、産業間連携や世代間連携、地域間連携など、多様な主体が有機的に連携することが求められている。プロモーション(情報発信)においては、多様な主体による情報発信の一元化を図るため、府中観光協会を中心とした情報発信のプラットフォームづくりを行う。具体的には、府中観光協会のホームページリニューアルを支援し、多様な主体のコラボレーションによる情報発信が可能となる仕組みを構築する。	令和4年度に作成したホームページ改修計画に基づき、府中観光協会において行うホームページ改修が円滑に行われるよう支援する。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
令和4年度に作成したホームページ改修計画に基づき、府中観光協会において行うホームページ改修が円滑に行われた。	協働で実施したことにより、課題の解決に結びつく成果を市民に還元できた	令和5年度に改修したホームページについて、観光協会キャラクター古都見ちゃんのページ作成や市や協会の関連するデジタルパンフレットの掲載数を増やす等、コンテンツの充実を支援する。

施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	067	消費生活の向上
総合計画	基本目標 IV 魅力あふれる うるおいと活力のあるまち (都市基盤・産業)	基本施策 04 にぎわいの創出
めざす姿	消費生活に関する正確な情報が様々な媒体により提供され、悪質商法などの消費者トラブルや製品事故等が発生しにくい環境や、発生した場合における消費生活相談の体制が整備されています。また、消費者と事業者との連携・協働を通じて経済・社会構造の変革を図る取組である自ら考える賢い消費行動（エンカル消費）が市民に浸透しています。	
SDGsとの関連		

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	4,213,000	4,338,000	4,765,000	4,919,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	425,000	299,000	766,000		
市債	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0		
一般財源	4,213,000	3,913,000	4,466,000	4,153,000		
予算現額	4,213,000	4,338,000	4,765,000	0		
決算額	3,948,251	4,112,145	4,361,311	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	282,450	0	352,600	0		
市債	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0		
一般財源	3,665,801	4,112,145	4,008,711	0		
執行率	93.7	94.8	91.5	0.0		
(人件費)						
職員数	1.70	1.40	1.40	0.00		
職員人件費	13,319,172	11,310,355	11,170,587	0		
月額制会計年度任用職員数	5.00	5.00	5.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	16,243,460	16,188,875	16,123,610	0		
(間接経費)						
間接経費	1,427,029	1,062,347	1,127,356	0		
総コスト	34,937,912	32,673,722	32,782,864	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値	
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		
① 市民全体における消費者トラブル(被害)の発生割合	4.4	実績	3.9	4.7	-	-	2.5
	%	達成率	64.1	53.2	-	-	
② 消費者相談に占める自主交渉(助言)率	82.5	実績	75.9	69.5	-	-	83
	%	達成率	91.4	83.7	0.0	0.0	
③ エンカル消費の実践割合	52.3	実績	44.2	46.3	-	-	60
	%	達成率	73.7	77.2	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	見守りを要する高齢者や成年年齢が引き下げられた若者など、消費者トラブルの更なる増加が懸念される。また、食品ロス削減や環境に配慮した消費活動など、エンカル消費の普及啓発が必要とされている。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	東京都を経由して国から交付される消費者行政強化交付金は、消費生活相談体制整備事業が期間終了に伴い皆減となり、相談・見守り体制の整備・運用やSDGsへの取組などが対象となっている。	トラブル発生割合は、増加しているが、その要因としては、コロナが終焉を向かえ、消費活動が活発化してきたことによる考えられる。自主交渉率は減少したが、高い割合を維持している。エンカル消費については目標達成に至らなかったが、消費生活展におけるアンケート調査ではエンカル消費に関する記載が多数見られ、市民の関心が高まっているものと評価する。 パネル展示や講座の開催、冊子・リーフレット・グッズの作成・配布のほかメール配信を行うなど多様な方法により、幅広く啓発を実施できた。新たな相談事案にも適切に対応できるよう相談員研修を実施するとともに、都などが開催する研修に積極的に参加するなど相談事業の充実を進めた。	
市民ニーズ	消費者トラブルに巻き込まれた市民に対する相談の充実や、消費者トラブルの未然防止及びエンカル消費の普及に向けた啓発活動のニーズが高まっている。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	消費者啓発事業		主担当部課名	生活環境部 産業振興課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① 開催した消費生活展及びパネル展の回数	2	計画値	3	3	3	3	3	1	2	3	4	5	6	7	8
	回	実績	4	3	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		新型コロナウイルス感染状況の変化など社会的要因により概ね予定通りとなった。													
② 消費生活講座及び出前講座の実施回数	6	計画値	6	6	6	6	6	要因の種類(※)							
	回	実績	6	5	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		市民等のニーズが減少し計画を下回った。(消費生活講座1回、出前講座4回)													
事務事業名称	消費者相談事業		主担当部課名	生活環境部 産業振興課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① ※数値の比較や推移で評価することがないため指標の設定は行わない	-	計画値	-	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8
	-	実績	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称			主担当部課名				事業種別								
次年度における事業の位置づけ															
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> ▼消費生活展の開催（12月） ▼消費生活パネル展の開催（5、9、11月） ▼消費生活講座の開催（10月） ▼出前講座の実施（5回） ▼啓発冊子、リーフレット、グッズの作成・配布 ▼消費生活センターの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・月曜日～金曜日 ・午前10時～午後4時(正午～午後1時除く) ・相談員3名体制 	<ul style="list-style-type: none"> ▼消費生活展の開催（12月） ▼消費生活パネル展の開催（5、9月） ▼消費生活講座の開催（10月） ▼出前講座の実施（4回） ▼啓発冊子、リーフレット、グッズの作成・配布 ▼消費生活センターの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・月曜日～金曜日 ・午前10時～午後4時(正午～午後1時除く) ・相談員3名体制 		
今後の展開	巧妙複雑化する悪質商法などによる消費者トラブルの未然防止やエンカル消費の普及に向けた啓発活動を行うとともに、新たな事案にも適切に対応できるよう消費者相談の充実を進め、市民の消費生活の向上を図る。	巧妙複雑化する悪質商法などによる消費者トラブルの未然防止やエンカル消費の普及に向けた啓発活動を行うとともに、新たな事案にも適切に対応できるよう消費者相談の充実を進め、市民の消費生活の向上を図る。		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				

6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
持続可能な社会の実現に資する取組に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
判断力が不十分な高齢者や障害者の消費者トラブルを防ぐため関係機関との連携強化を図るほか、若年者を中心としたSNSによる悪質商法の勧誘といったトラブルに対して、さらなる取組の充実を図る。 また、エンカル消費を普及するための取組を関係課と連携して実施する。	消費トラブルを未然に防止するため、消費生活講座や消費生活展を実施するほか、学校や大学と連携して消費者教育の充実に取り組む。 また、エンカル消費の効果的な普及・啓発を関係課と連携して行うほか、先進的な他市の取組等を調査・研究する。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
<ul style="list-style-type: none"> ▼消費生活展の開催 ▼消費生活講座の開催 ▼出前講座の実施 	協働による実施を検討した	消費生活展や消費生活講座、出前講座を見守り関係機関や大学、企業などと連携して取り組んでいく。